

☆☆☆ あいぷろ通信 ☆☆☆

シリーズ企画!

あいプロを支える人たち

インタビュー
『ヤロウファーム』高田敏孝さん



サポートセンターあいぷろでは、就労支援の一環として牧場での職場実習を行っています。今回は、その実習先であるヤロウファームのオーナー高田さんにお話を伺いました。

(インタビュー) 以下(イ) ~ あいぷろとの出会いは? ~

(高田さん) 以下(高)

「私にはダウン症の娘がいるのですが、そのことで障がい者の支援活動をしている人達と関わる機会がありました。あいぷろさんが主催するイベントで、自分が製造しているもち米を販売してもらうことになったことが直接のきっかけです。」

(イ) ~ 障がい者活動には参加されていますか? ~

(高)

「娘が生まれたことで、病院からエンゼル会を紹介され入会したことが始まりです。その後、娘が通うあけぼの学園の保護者会会長やエンゼル会の副会長を歴任し、昨年からは会長を引き受けています。現在は、地域の学童保育の立ち上げにも関わっています。」

(イ) ~ 高田さんにとってのあいぷろとは? ~

(高)

「新しく出来た施設ということでとても期待しています。娘の将来についても、身内だけの支えではなく、働く場所や将来にわたった支援をしてもらえる人や場所を見つけなければいけないと思っています。子どもを託せられるような施設になってほしいと願っています。」

(イ) ~ 職場実習の受け入れをしている中で感じることはありますか? ~

(高)

「これまで3名の実習生の受け入れをしてきましたが、当然のことながらそれぞれに特徴や実習課題も違います。三者三様の関わり方や仕事の伝え方を考え、教えていくことはとても楽しく感じています。」

「ここでの取り組みが、福祉的就労と一般就労との中間に位置づけられ、将来の一般就労へつながってくれることを望んでいます。」

インタビュー後記

高田さんには、昨年の11月から実習の受け入れをしてもらっており、実習生個々の課題や目標にも理解してもらいながら指導にあたってもらっています。温かい心の中にも、時に厳しく接してもらえる姿は、障がいを持つ人達への深い愛情が感じられ、私たち支援者はもちろんのこと、実習生達からも厚い信頼を得ています。

今回のインタビューで高田さん自身が話されているように、牧場での実習が一般就労への足掛かりになるよう、これからも協働して実習生の成長を見守りたいと思います。

今回はご多忙中、インタビューへご協力いただき、ありがとうございました。

平成22年7月15日発行

第13号

【発行元】

社会福祉法人あいプロジェクト

広報編集責任者: 浜瀬 達也

〒510 - 0805

四日市市東阿倉川254番地

/Fax 059 - 358 - 0064

E-mail i-project@sf.commufa.jp

【利用料等振込先】

百五銀行 阿倉川支店 普通: 346869

名義: 社会福祉法人あいプロジェクト

HPを開設しました!
「社会福祉法人あいプロジェクト」で検索して下さい

今号の目次

ページ1

・インタビュー ~ 高田敏孝さん

ページ2

・特集『障がい者の地域活動支援』

・保護者手記『母の思い』

ページ3

・作業所便り

・製菓通信

ページ4

・イベントのお知らせ

・会員募集

・法人会員様ご紹介

・各種お知らせ

・あいのコラム

作業所便り

職場実習をレポート!~ヤロウファームでの奮闘記



サポートセンターあいぷろでは、就労支援の一環として職場実習を行っています。作業所を離れ社会の風に当たることで、働くことの大変さをより実感してもらうためです。今回は、その実習先のひとつである『ヤロウファーム』での牧場実習の様子をレポートしたいと思います。



ヤロウファームは肉牛の畜産牧場で、現在約60頭の牛が飼育されています。その一頭一頭に、夕方の餌やりをするのが実習生の主な仕事です。作業所での仕事を終えた後、寺方町にあるヤロウファームまで車で向かいます。



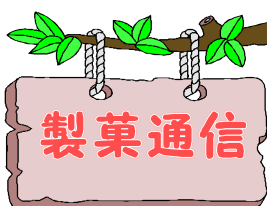
作業は16:00に開始。まずは餌場を掃除します。牛は水気のある餌を好まないため、竹ホウキとミノを使って、餌場にこぼれている水や朝の餌の食べ残しを取り除きます。掃除は「手早く」かつ「抜かりなく」することが大切です。

掃除が終わると、次はいよいよ餌やりです。ここで与えている餌は、ワラ、サイロ、チモシーの3種類です。手押し車に餌を乗せ、一頭ずつ回っていきます。牛舎には、雄牛や妊娠牛、子牛など性別や状態の違う牛が混ざって飼育されており、それぞれに食べる量や餌の種類も違うので、カラーテープを使って色分けしてもらっています。そうすることで、「どの牛にどの餌をどれくらいの量を与える」という判別をしやすくしています。カラーテープを見ながら、必要な餌を必要な分だけ餌場に置いていきます。



この作業を17:00までの1時間で終わらせることを目標にしていますが、これがなかなか難しい。大抵は、作業途中で終了時刻がきてしまいます。

いずれは食肉となる牛を、より大きく健康に飼育していくために、餌の管理はとても大事な役割を果たします。そのため、単なる体力仕事ではなく、餌の量を微調整をしたり与え方に注意したりと細かな気配りも必要な仕事です。今はまだオーナーの高田さんに付きっきりで指導してもらっていますが、いつかは本人たちだけに作業を任せられることを目標に、これからも頑張ってもらいたいと思います。



あいぷろの手作りジャムはいかがですか？

保存料・着色料などの添加物は一切使用せずに、ひとつひとつを丁寧に手作りしています。いちご、金柑、柚子、甘夏をご用意しています。

朝の食卓や夕方のひとときに是非一度お試しくださいませ♪♪

ご注文は下記まで↓

059-358-0064(製菓担当:西)



障がい者の地域活動支援

はじめまして、NPO法人げんき会の代表をしております柴田健二です。

げんき会は、「げんきかい？」を合言葉に障がいを持つ人もたない人も共に声をかけあい協力しあえる地域づくりを目指して、平成14年に任意団体として活動を始めました。活動内容は、余暇活動の支援、通学・通勤の付添、通院の介助、緊急時の一時預かり、療育、移送など、福祉制度では対応しきれないことも含めて暮らし全般の支援を行なってきました。

NPO法人に移行してからは、公的な福祉サービス(行動援護、身体介護、移動支援)を中心に活動を行なっていますが、公的な福祉サービスだけでは利用者個々の特性や家庭状況に対応していくには不十分なこともあり、独自の私的契約サービスを柔軟に併用しながら支援にあたっています。私的契約サービスの提供は、人(ヘルパー)の配置や収益性等において運営上の困難を伴いますが、利用者本位の視点に立てば、げんき会に元来求められているニーズであり、この会を設立した目的でもあると確信しています。

昨今、福祉に関わる事業所や施設において、制度や運営上の問題で出来る事と出来ない事が明確になってきております。そのような状況下にあつて、私たちの活動は今後さらに意義を持つてくるものと自負しています。

「あいプロジェクト」は、有志の勉強会から始まり、NPO法人化、そして昨年は社会福祉法人へと着実に法人基盤の整備に向けて展開されています。一方支援についても、利用者の方々に対して丁寧な関わりをされていることを常々感じています。「あいプロジェクト」と当法人とは、障がいを持つ人への見方や関わり方や、人との関係性で様々な経験を通して課題を解決していく支援の視点等、共通するものがたくさんあります。今後は、地域福祉の向上を目指す支援として、連携を図りながら相互関係を深めていきたいと思っています。

2010年7月1日
NPO法人 げんき会
理事長 柴田 健二

あいぶろ利用者の保護者が、子どもへの想いを綴るコーナーです。

4回目となる今回の書き手は、前回走者の岡本さんからタスキを受けた、中西伊吹さん(17歳)のお母様です。

『母の思い』

息子は中学卒業後あいぶろに入り2年目、現在17歳です。

子供が障がい児であるということ、「大変ね～」「かわいそうに…」と言われることがよくあります。スタンダードでないということは確かに不便なことです。健常者が当たり前に出ることが障がい者には当たり前でない。また、大きくなるにつれて周りからの視線も厳しくなりつつあります。が、それでも、障害を持ったからこそその個性、分かることもあるのではないかと考えています。息子を見ていると、脳の配線が一般人とは違っている。でも、それがすべてマイナスかということ、そうでもない。彼には彼なりの分かり方があり、それはそれでよし、と思うのです。また、彼は人に対して「嫌い」という感情を持ったことがないようです。たとえ、いじめられた相手であっても「好き」と言います。これこそ知恵を捨てなければ得られない境地かもしれません。無駄なものは何もないと教えられているようです。

あいぶろ2年生になり、おかげ様で出来ることも少しずつ増えてきました。一方、指導というものは、鑄型にはめるという側面を持ちます。この場合は、こうしなければならぬ。また、こうしてはならぬ。と、いうように。スキルアップを嬉しいと思う反面、こうやって、面白くもない大人になっていくんだろうな、とも感じています。

あいぶろの理念にある「障がいを持っていても輝く」とはどういうことかと考えると、まずは肯定されること。そして、本人が自信を持って生きられること。とはいえ、社会に受け入れられる人でなければならぬ。作業所の現場では、その難しいせめぎあいであろうと思います。私自身は、「自分が見ているものがすべてではない。自分にはわからないことがある。ひとりの存在というのはそれだけ深いのだ」ということを肝に銘じていこうと思っています。

サポートセンターあいぶろ作業生 中西伊吹の母(智子)

次回は荒木やす葉さんのご家族の予定です。乞うご期待！

あいぷろ恒例夏祭り！ 8 / 8 (日) 開催決定！！



来たる8月8日(日)に、あいぷろ事務所にて、夏祭り『流しそめんとバザー』を開催します。今回のイベントでは、当日の様子をラジオ局FMよっかいちにて公開収録します。 放送は8月15日(日) 14:10～

夏恒例の流しそめんに加え、協力企業様の出展・催し物、自家製の手作りケーキが評判のあいぷろカフェ、お値打ちの日用品バザー、豪華景品ビンゴゲーム大会などなど、今回も盛りだくさんの内容を用意しています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場下さいませ。

詳細は別紙のチラシをご参照下さい。



あいぷろ後援会員を募集しています！

あいプロジェクトの活動を支えて下さる後援会の会員さんを募集しています。ご入会いただける方、また、お知り合いの方で入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、あいぷろ事務所までお問い合わせ下さい。

会員区分	会費
一般会員	年間 5,000円
賛助会員	年間1口 1,000円(1口以上何口でも)
法人会員	年間1口 10,000円(1口以上何口でも)
ボランティア会員	無し

先般、法人会員にご入会いただいた企業様を以下に掲載させていただきます。今後とも末永いお付き合いを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ビコーインプレス 様

うちの小槌 様

有限会社ダイトー地所 様

➤ 障がい児・者の外出ヘルパー、各種ボランティアを募集しています。

障がい者支援に興味のある方、農作業やお菓子作りに興味のある方は、あいぷろ事務所までお気軽にご連絡下さい。

➤ アルミ缶やインクカートリッジの回収を行っています。

アルミ缶・使用済みインクカートリッジをご提供いただける方は、あいぷろ事務所までご連絡下さい。ご協力お待ちしております。

➤ 皆様からの様々なアイデアを募集しています。

障がい児・者と共に生きる社会を目指して、どんな取り組みができるのか等、皆様からのアイデアを募っております。どんなことでも結構です。お気軽にご連絡下さい。

➤ 自主製品を販売しております。

クッキー・パウンドケーキ・カステラ・ジャムなど、あいぷろ自主製品はいかがですか？お買い求めいただける方は、あいぷろ事務所までご連絡下さい。



あいのコラム

いくら頭が良くても、それを生きる力にしなければ辛い事が多い。
いくら体力があっても、それを生きる力にしなければ難しいことが多い。
生きる力には、簡単なこともあればなかなかできないこともある。
だから、生きる力は鍛える必要があるのかもしれない。